

科目	心理学実践領域実習Ⅰ（心A）	単位数	1
担当教員	竹橋 洋毅、谷向 みつえ		
履修対象	心理科学科2年秋学期		
目的	心理面接やコミュニケーションスキルの基本となる知識や技法を学び、体験することを目的とする。		
達成目標	「知識・技能」 (1) 対人援助に関わる心理学的な技法や知識について、体験を通して身につける。 (2) 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。 「思考力・判断力・表現力」 (1) 心の問題に対して、心理学の知見や理論に基づき、援助の方向性を考える力をつける。 「主体性・多様性・協働性」 (1) 心の問題に対する援助について多様性、協働性の観点から理解できる。		
授業計画			
1	オリエンテーション／授業概要および進め方についての説明		
2	感情と行動のブレインストーミング（担当：谷向）		
3	臨床心理学的面接の基礎／かかわり行動（担当：谷向）		
4	臨床心理学的面接の基礎／質問技法（担当：谷向）		
5	臨床心理学的面接の基礎／言いかえ・要約技法（担当：谷向）		
6	インテーク面接とは（担当：谷向）		
7	ロールプレイ／情報の収集（担当：谷向）		
8	ロールプレイ／見立てる（担当：谷向）		
9	対人援助のための傾聴(担当：竹橋)		
10	他者の信念に耳を傾ける(担当：竹橋)		
11	考え方の癖や思い込みに気づく(担当：竹橋)		
12	学習方略について耳を傾ける(担当：竹橋)		
13	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションとは(担当：竹橋)		
14	説得的なコミュニケーション技法(担当：竹橋)		
15	ロールプレイ／行動変容にむけたコミュニケーション(担当：竹橋)		
授業形態／具体的な内容	実習形式（ワーク、ロールプレイ、ディスカッション）を中心に行う。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
特に指定しない。			
参考書	各授業の中で、適宜紹介する。		
成績評価の基準・方法	基準 心理面接において基本的な知識や技法、特に傾聴について理解するとともに、それらを実践しようとする態度や意欲を身につけることができれば合格。 方法 学習意欲、受講態度、提出物などにより総合的に評価する。		
留意点	実習中心であるため、無断欠席、遅刻は厳禁。また、受講生には、ロールプレイやグループでの話し合いなど、積極的な参加が求められる。		
準備学習	日常生活の中で感じること、考えることに意識を向けてみましょう。また、普段から新聞やテレビで報道されている社会的問題に意識を向けて、どのような援助・介入が可能かを考えるようにしましょう。		
備考	課題等へのフィードバックは授業中に適宜行う。		No. PY622003